

を強いて妨げるのは却つて健康増進の妨となり、外界の空氣と皮膚との接觸に依つて皮膚の健康を直接に計らうとして、間接に内臓諸器害の活動をよくしようとしてゐるのであります。殊に雪の中は埃もなく、空氣も清潔で降り積つてゐる中で遊ぶ小供は保健上頗るよい事と思ひます。

それで私共は雪國に生い立つ愛しき小供を元氣のあるそして強い子供として、仕上様と思つて居ります。

## 冬の觀察

鳩巢園 佐藤 萬壽

春夏秋の三季に於ては當園の如き田舎では自然界より可成色々観察材料を豊富に恵まれて居ます、故に幼兒は見るもの觸るものに興味を持って觀察をし、それが話となり、歌となり、手技となり

畫方となつて、私達へ深い興味を興へられます、然し冬期に於きましては、割合に材料が少なく、むしろこちらから、材料を幼兒に與へる様苦心いたす有様です。

冬の觀察としましては、別段各地と變つた點は御座いせんが、魚、鳥、樹木、草花、果實、器物、衣服の類其他行事に關するもの種々ありますが、尤も觀察は幼兒の遊びの最初に於かるべきもので、私達の職務上凡ての事項に於て、基礎となるものでありますから、相當指導上に責任を感ぜさせられます、と申て學校に於ける理科教授の様になつては、面白くないといふ點から、大低の場合幼兒の興味をひく爲にこちらから、種々なものに接觸させ、幼兒よりの發問を待て觀察にとりかゝる事に致して居ます、特に材料を興へてする場合は、幼兒等の尤も目につき易い、場所に所定の材料を置き各兒思ひ思ひに觀察し、幼兒よりの發

間に遭遇せる場合、つとめてその言葉をとらへ、互に問答を開始し、そして充分に發言權を與へ話すものには、又こちらからも話し、扱ては歌となるものは歌はせ、手工材料となるものは手技として、畫となるものは描かせるのであります、又は謄寫版に刷りて塗繪とさせます、冬期の果實即ちみかん、りんごの如きは斷面寫生として幼兒自ら細かい所まで觀察して、面白いものが表現されます、功者に至ては、圖案など案出します、又服裝室内器具等を手工に表はす事によつても面白い家庭遊び、又は時計に依て時間に關する遊びをする事が出来ます。

或冬の朝、庭園に於かれしバケツに、厚き氷が張られしを、金だらひに入れて幼兒の見付け易き場所に置きしに、それを見付けた幼兒等は何れも氷々と口々に云ひよりて見るうちに「うちにも氷が張つてあつた……手水鉢に……井戸端に……泉

水にも……池にも……堀にも……途中道端にも……僕は氷で滑つた……と話しますると氷がとけ出して「ア、水が出ル〜」「ヌクメタラ早クトケル」「日ナタへ持テユケ」「火鉢デヌクメ」と様々な言葉が幼兒の口から發せられます、終に氷が火鉢にかげられ、一時にとけました、一同大聲あげて喜びます、それからは雪の話、霜の話、あられ、露水、つらゝ等の話に移り、最後には幼兒の一口話が姑まり出すといふ有様。

「或時雪が降つて、雪の兎さんをこしらへた、兎さんも寒からうと思ふて、おぼんにのせて、こたつに入れて置いた、今度行て見たら兎さんはおシッコして逃げた」

かくして一同ドツと笑はされ、幼兒は申すまでもなく、指導の任にある者までが、此日を雪に依て強く印象づけられました、之に依て興味づけられた幼兒は、翌日又翌日と家から種々の器物に張つ

た氷を冷たい事も忘れて、手にく／＼か／＼へて持て  
參ります、所が中にははじかんだ手を滑らせて、  
道端に落して割れたと失望するものもありました  
そこで私は可愛想だと考へて、一の名案を浮べま  
した、翌日は氷が張りそうだと思ふ器物の中に、  
棒切又はワラをさし込んで置いたのです、すると  
手を直接氷にあてないで、容易に氷を運ぶ事が出  
來ます、幼兒は之を見て大喜び、又翌日から手に  
く／＼工夫をした手をつけて、氷を運んで參ります  
之は私の園に於ける或冬の實驗であります。

觀察と云ふ問題に、充分ふれて居りませんかも  
知れませんが、唯ありのまゝを記した次第であり  
ます。以上

## 觀察の一日

名古屋 松若幼稚園

保育項目に觀察といふ、新らしいと思へば古い  
古いと思へば新らしい、項目が一つ殖えました  
保育の方法としては從來と少しも變りない様にし  
てゐてよいのであろうが、よく社會の人から觀察  
科といふことは、何のことかと尋ねられることも  
あり、其特別に新らしい仕事ではありません、抑  
々教育といふことは皆觀察し觀察させねば出來ぬ  
もので、私共保育に従事してから今日まで、ツツ  
トやつておりますものをたゞ當局が、文字の上  
に現はされたのみでありますと答へてもよいのであ  
ります。

しかし、之に偏するとやゝ無責任の様にも思は  
れますから、幼兒の欲する見聞を一層充分にさせ  
たいと考へます、これからの満足させるには、第  
一園内の施設を改善發達させねばならないこと、  
承知しますものゝ、今急にと出來がたい點もあり  
ますので、取敢へず園外へ誘導し、僅かでも觀察